

# 【経営ニュース】

## 中小企業白書「93%の会社に主銀行」

中小企業庁はこのほど、2007年版の中小企業白書を公表した。

その中で、中小企業の資金調達についてみると、メインバンクがある中小企業の割合は93.2%で、ほとんどの中小企業がメインバンクを抱えていることがわかる。従業員規模でメインバンクの業態をみると、20人以下の企業では62.3%が地方・第二地方銀行と回答したのに対し、301人以上では59.9%がメガバンクと回答している。また、借入申込みに対するメインバンク側の反応は改善傾向にあることが報告されている。

なお、小規模企業では、メインバンクの担当者との接触頻度が低く(20人以下では月2回以上の接触が半数であるのに対し、301人以上では70%超)、取引満足度が低い点が指摘されている。

さらに資金調達への取組みについてみると、ABL(動産を担保に行う調達手法)など従来にない借入手法も開発されており、借入手法が多様化していることが明らかにされている。

中小企業の主要株主は、代表者やその親族等が多く、ベンチャーキャピタル出資は少ない現状を指摘。円滑な資金調達のための決算内容の信頼性向上も必要であるとしている。